

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	絵画概論	早見 堯	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質できている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
ベラスケスやエッシャー、デュシャンなどを通して絵画が成り立つ仕組みを知り、現代アートを中心に古今東西の絵画を見ながら、それぞれの絵画がどういうふうになられ、どう見えるのかを一緒に考えていきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション；絵画を見るときは連想することだという観点から絵画を見てみる		
2	20世紀以後の絵画を「様式」の変遷として見ることはできるのか？という問題意識で絵画を見る		
3	「正面」と「斜め」の関係として絵画を見る—ムンク、ゴッホ、アンゼラム・キーファーほか		
4	再解釈&再創造として絵画を見る①；ピカソ—モンドリアン—ポロック—フランク・ステラー—岡崎乾二郎、村上隆ほか		
5	いま、日本の絵画は？ここ5年以内の日本の絵画①		
6	再解釈&再創造として絵画を見る②；マティス—バーネット・ニューマン—ケネス・ノーランド—根岸芳郎、工藤礼二郎、馬場健太郎ほか		
7	絵を描く画家という生き方；藤田嗣治の戦争記録画「神兵の救出到る」をめぐって		
8	画家が時代を先導するアヴァンギャルドである条件；岡本太郎の作品を見る		
9	問題発見と問題解決で生まれる絵画；山田正亮		
10	いま、日本の絵画は？ここ5年以内の日本の絵画②		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田雅之	2単位 37.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
【講義概要】			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	中間試験	32	後期試験
【成績評価方法】			
期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。 また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。またTHEATRE茶房の冠でプロデュースも行ない、ガレリア・プリントでの『クロワゼ』公演、朗読、ミュージシャンやビデオアートとのコラボレーションなど活動の幅を広げている。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。 *1年生は夏課題と合わせて単位修得</p>			
【講義概要】			
7/11(土)就職セミナー1 (卒業生)、9/5(土)海外留学準備コース講座1、9/26(土)同窓会特別講座、10/2(金)海外留学準備コース講座2、12/12(土)創形展特別講座、2/13(土)就職セミナー (就活ポートフォリオ)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	海外留学準備コース講座1		
3	同窓会特別講座		
4	海外留学準備コース講座2		
5	創形展特別講座		
6	就職セミナー (就活ポートフォリオ)		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。夏課題の作品提出による担当専任教員の採点。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語能力試験N1対策	蔣燕萍	2単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2020年度	1年留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語	メロス言語学院講師	2単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	映像ワークショップ	三田村光土里	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。</p>			
【講義概要】			
<p>フォト・ストーリーをつくる</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作チェック		
3	制作		
4	制作チェック		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作チェック		
9	制作		
10	発表・講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 現代美術家。1964年生まれ。写真を使った空間作品を国内外で発表。2006年ウィーン分離派館にて個展。2003年東京都写真美術館『日本の新進作家展vol.2』。2016年あいちトリエンナーレ他。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ドローイング	工藤礼二郎、山本 晶	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>絵画に対する視野を広げ、その多様性と可能性に触れることで、自らの表現世界をより豊かなものにする。</p>			
【講義概要】			
<p>各自、現在興味のある事象に基づき様々な手法でドローイングを行い、イメージの展開や絵画としての多様な造形要素とはどういうものか実践をとおして探る。キャンバスに油彩といったタブローを構成する規範化された組み合わせにこだわらず、様々な支持体（ダンボール、金属板etc）に既成概念にとらわれず描いて見る。最終的にはそれらのドローイングが作品として自立しうるかを検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作チェック		
5	制作		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作		
9	制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。 1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。 山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習A	山本 晶	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。			
【講義概要】			
発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	自己と表現と人の考え		
3	自己と表現と人の考え		
4	描かれるもの		
5	色について		
6	破壊と再構成の自画像		
7	拡張する絵画		
8	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画技法実習(混合技法)	安藤孝浩	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。			
【講義概要】			
北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法(安藤)、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユ(工藤)を中心に学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 下地塗り3層乾燥後に図版の写し		
2	地透層(インプリマトゥーラ) 白色浮出		
3	油絵の具1層目及び白色浮出		
4	油絵の具2層目及び白色浮出		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年東京都生まれ。1991年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。2016年~2018年東京藝術大学非常勤講師。現在、科学とアートを横断する作品を制作。主な活動として、2009年~2012年宇宙航空研究開発機構(JAXA)とコラボレーションした文化・人文社会科学利用パイロットミッション『お地球見』(ISS国際宇宙ステーションにて実施)など。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画技法実習(グリザイユ)	工藤礼二郎	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。			
【講義概要】			
北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法(安藤)、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユ(工藤)を中心に学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーリング技法説明、制作		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作、講評		
6	水張り、技法説明、制作		
7	制作		
8	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科屋間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	物質と絵画	伊藤泰雅	4単位 147時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。</p>			
【講義概要】			
<p>主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。支持体を選択(複数可)し、手法を決める。物としての強度について意識しながら作品を制作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	25	制作
2	制作	26	制作
3	制作	27	制作
4	制作	28	制作チェック
5	制作チェック	29	制作
6	制作	30	制作
7	制作	31	制作
8	制作	32	制作チェック
9	制作チェック	33	制作
10	制作	34	制作
11	制作	35	制作
12	制作	36	制作チェック
13	制作チェック	37	制作
14	制作	38	制作
15	制作	39	制作
16	制作	40	制作
17	制作チェック	41	制作
18	制作	42	制作チェック
19	制作	43	制作
20	制作	45	制作
21	制作チェック	46	制作
22	制作	47	制作
23	制作	48	制作
24	制作	49	講評会
25	制作チェック		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年静岡県生まれ。1991年東京藝術大学大学院油画技法・材料修了。絵画を制作、個展を中心に発表。2001年関口芸術基金賞展優秀賞。最近の主な活動は、2016年・2018年個展（ギャラリー檜）、2017年第2回アートオリンピック入賞、『表層の冒険-抽象のアポカリプス』展参加など。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習B	黒瀬陽平	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>現代の視覚文化は映像を媒体としたコンテンツを抜きにして成立しません。サブカルチャーからハイカルチャーまで、映像というメディアがどのような役割を果たし、どのように展開したのか。本講義では主に戦後日本を中心としてアニメや映画、ゲームなどの映像コンテンツが表現してきたものを読み解いていきます。</p>			
【講義概要】			
<p>現代美術への理解を深め、作品制作のヒントを得るために、レクチャーと課題&講評会、課外授業を組み合わせたカリキュラムを行います。レクチャーでは、現代美術についての原理的な解説、日本現代美術史と戦後日本文化全般の解説を中心に行います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	レクチャー②（課題①出題）		
3	【課外授業】美術館解説ツアー①		
4	課題①講評会+レクチャー②		
5	レクチャー③（課題②出題）		
6	課題②講評会+レクチャー④		
7	【課外授業】美術館解説ツアー②		
8	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1983年生まれ。美術家。美術批評家。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程修了。博士（美術）。アーティストグループ『カオス*ラウンジ』を結成し、展覧会やイベント等をキュレーション。キュレーション作品に『キャラクラッシュ！』（2014年）など。著書に『情報社会の情念』（NHK出版、2013年）。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画材料実習	工藤礼二郎	3単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>絵画では描く行為の前にどのような支持体を準備するかによってその表現を大きく左右することになる。この授業では近世以降、油画の支持体の中心をなしてきたキャンパスの製作や材料講義を通してそれらが表現に与える影響を理解する。</p>			
【講義概要】			
<p>油性キャンパス（市販）の張り方から吸収性キャンパス（白亜地）及び半吸収性キャンパス（エマルジョン）の製作を通して、顔料や膠など様々な材料に触れると同時に絵の具や溶き油の性質の講義も行う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作
2	市販キャンパス張り・膠膨潤	18	講評会
3	麻布張り・膠引き1		
4	制作		
5	制作		
6	白亜地塗料製作		
7	白亜塗布		
8	制作		
9	麻布張り・膠引き2 エマルジョン地塗料製作		
10	エマルジョン塗布		
11	制作		
12	講油彩画材料講義		
13	制作		
14	パネル製作講義		
15	制作		
16	パネル製作実習		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画と物語	山口 藍	4単位 132時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>支持体と描画の関係性 平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。 ※キャンパス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	25	制作
2	制作	26	制作
3	制作	27	制作
4	制作	28	制作チェック
5	制作チェック	29	制作
6	制作	30	制作
7	制作	31	制作
8	制作	32	制作チェック
9	制作チェック	33	制作
10	制作	34	制作
11	制作	35	制作
12	制作	36	制作チェック
13	制作チェック	37	制作
14	制作	38	制作
15	制作	39	制作
16	制作	40	制作
17	制作チェック	41	制作
18	制作	42	制作チェック
19	制作	43	制作
20	制作	45	制作
21	制作チェック	46	制作
22	制作	47	制作
23	制作	48	制作
24	制作	49	講評会
25	制作チェック		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンパス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真と美術	松蔭浩之	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。			
【講義概要】			
歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	写真の誕生／カメラの仕組み		
2	私の写真論1／カルティエ・ブレッソンを「読む」		
3	デジタルカメラ入門1		
4	私の写真論2／WS「モノクロ・ユニバース」		
5	デジタルカメラ入門2		
6	セルフポートレート実践／森村泰昌		
7	セルフポートレート実践／WS 講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習C	宇治野宗輝	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
今までにやったことのないことをやる。			
【講義概要】			
絵画以外の形式で作品を制作。詳細は初日にディスカッションをして決定。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題説明・各自作品を持って自己紹介		
3	プランを発表・制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	発表 講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科染織専攻卒業。サウンド・スカルプチュアを製作、展示／ライブパフォーマンスを行う。 『六本木クロッシング2010展』森美術館、『宇治野宗輝 ポップ／ライフ』彫刻の森美術館、『ヨコハマトリエンナーレ2017』等。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	先端メディア	八幡純和	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。			
【講義概要】			
ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	企画・演出		
3	企画・演出		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 携帯キャリア公式コンテンツ配信プラットフォームやアプリストアなど、主に大規模システムの開発・運用に携わる。 2015年 Psychic VR Lab 設立に参画。三越伊勢丹やパルコ、ファッションブランドとVRを活用した様々な企画・製作を手掛ける。2018年パルコらと共に様々なクリエイター／アーティストとVR/MRを使って超体験をデザインするプロジェクト NEWVIEW をスタート。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	連作主題研究	工藤礼二郎、高橋輝夫	6単位 201時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
制作と並行してステイトメントとポートフォリオの実践も行う。以後、継続してポートフォリオの充実が図れるよう基本形を構築する。また DMの作成、作品展示の具体的な体験指導も行う。			
【講義概要】			
各自が任意の一つのテーマに沿って、3～5点の連作を制作する。モチーフ、テーマ、描画方法などは自由。作品サイズは一点に尽き8号～20号とする。講師との対話、クラス内での意見交換や文章理解などにより自分の制作を観察していく過程を大切にしながら、学内ギャラリー「ギャラリー・ブント」で展示、発表するという目標に向けて制作プロセスを立案、実行する。			
回 授業計画及び学習の内容			
1	ガイダンス	36	作品制作
2	作品制作	37	作品制作
3	作品制作	38	作品制作
4	作品制作	39	制作指導
5	作品制作	40	作品制作
6	制作指導	41	作品制作
7	作品制作	42	作品制作
8	作品制作	43	制作指導
9	作品制作	44	作品制作
10	制作指導	45	作品制作
11	作品制作	46	作品制作
12	作品制作	47	中間講評
13	作品制作	48	作品制作
14	制作指導	49	作品制作
15	作品制作	50	制作指導
16	作品制作	51	作品制作
17	制作指導	52	作品制作
18	作品制作	53	作品制作
19	作品制作	54	作品制作
20	作品制作	55	制作指導
21	1点目講評	56	作品制作
22	作品制作	57	作品制作
23	作品制作	58	作品制作
24	作品制作	59	作品制作
25	制作指導	60	作品制作
26	作品制作	61	作品制作
27	作品制作	62	制作指導
28	作品制作	63	作品制作
29	制作指導	64	作品制作
30	作品制作	65	作品制作
31	作品制作	66	作品制作
32	作品制作	67	講評
33	制作指導		
34	作品制作		
35	作品制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。 1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。 高橋 輝夫：1960年埼玉県生まれ。1986年創形美術学校造形科卒業。1987年同校研究科修了。国内外にて発表活動。1993～1997年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。1995年（第14回ビエンナーレ メディテラネエヌ）ニースにおいて、グランプリ・アンリ・マティス大賞受賞。個展、グループ展多数。CAF.N会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	主題研究・インターンシップ	工藤礼二郎、 山本 晶	5単位 195時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
2年次の授業を総合的に判断し、また新たなアートシーンにも触れながら3年次へ向けた自らの主題を探る。			
【講義概要】			
各自制作可能な大きさ、内容に挑戦してもらいます。2点制作。版サイズ450×300mm程度 就業体験（インターンシップ）をし、それをレポートにまとめて提出。（希望選択制）／就業につながる課題制			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス	36	作品制作
2	作品制作	37	作品制作
3	作品制作	38	作品制作
4	作品制作	39	制作指導
5	作品制作	40	作品制作
6	制作指導	41	作品制作
7	作品制作	42	作品制作
8	作品制作	43	制作指導
9	作品制作	44	作品制作
10	制作指導	45	作品制作
11	作品制作	46	作品制作
12	作品制作	47	中間講評
13	作品制作	48	作品制作
14	制作指導	49	作品制作
15	作品制作	50	制作指導
16	作品制作	51	作品制作
17	制作指導	52	作品制作
18	作品制作	53	作品制作
19	作品制作	54	作品制作
20	作品制作	55	制作指導
21	1点目講評	56	作品制作
22	作品制作	57	作品制作
23	作品制作	58	作品制作
24	作品制作	59	作品制作
25	制作指導	60	作品制作
26	作品制作	61	作品制作
27	作品制作	62	制作指導
28	作品制作	63	作品制作
29	制作指導	64	作品制作
30	作品制作	65	連作作品講評
31	作品制作		
32	作品制作		
33	制作指導		
34	作品制作		
35	作品制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p> <p>山口 藍：1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でぐるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。</p>			